

令和6年度 粟ノ保小学校だより



ひまわり

令和6年10月1日 NO.12

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇運動会◇ 9/28(土)

秋晴れの中、運動会が開催できました。来賓、地域、保護者の皆様にも粟ノ保っ子の頑張りを見ていただき感謝致します。全校児童が、力の限り自分の力を発揮し、友だちを応援したすがすがしい1日でした。午後からの社会体育大会も大変お疲れ様でした。



来賓や家族から自然な拍手が沸き起こり、「よい運動会」になりました。特に、6年生は競技の運営や応援合戦のリーダーとして、下級生の指導もあり大変な経験を積みました。来賓、地域、保護者の皆様、応援どうもありがとうございました。



◇実りの秋◇

さて、9月17日は中秋の名月でした。まん丸の大きな月がゆったりと空高く昇りながら、夜空を明るく照らす神秘的な光景に、思わず息をのみました。今見ている月は、遙か昔、平安の貴族が月をながめながらお酒を飲んだり、詩歌や管弦を楽しんだりしていたときと同じ月だと思えば、さらに趣を感じます。

今年も残暑というには暑すぎた9月も終わり、秋の日差しや風が感じられるようになってきました。10月は、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」と言われるように、何をすることも落ち着いてじっくりと取り組みやすい季節です。

意識して体を動かし、体力の向上を図ったり、本に向き合い、自分の世界を広げたり、好きなことやチャレンジしたいことに、力を注いだりすることのできる良い機会でもあります。

お子さんと相談し、充実した秋を過ごしてほしいと思います。



◇10月全校集会：校長の話◇10/3(火)

10月「スポーツの秋」です。毎朝登校後「チャレンジマラソン」に取り組みます。運動の得手不得手はありますが「自分のペースで」もくもくと走ります。自分への挑戦です。自分の記録との闘いです。自分の立てた目標に挑戦する姿は美しいのです。

やりとげることであくまさが身につきますね。挑戦し続ける粟ノ保っ子には先生方は全員にエールを送ります。

続けて、「芸術の秋」でもあります。



最初に4枚の絵を見せました。どの絵が気になるか手を挙げてもらいました。予想通りの絵が一番多く手が上がりました。4枚とも同じ人が描いたことを伝えました。ピカソです。一度は名前を聞いたことがあるくらい有名な画家です。ピカソは、91歳で亡くなっていますが、絵だけではなく彫刻の作品などを合わせると、約15万点、ギネスブックに「最も多彩な芸術家」として載っています。

ピカソは、1つのやり方にこだわらず、新しい作品を生み出す創造力が、世界中の人から「天才」と言われた要因でした。



有名な言葉で、「明日、描く絵が一番素晴らしい。」があります。ピカソは、どんなに素晴らしい作品ができて、常にもっといい絵が描けないかと挑戦し続けたと思います。

そして、「子供は誰でも芸術家」があります。ピカソは、年をとっても子供が作るような作品を目指していたと言われています。

最後に、ピカソの描いた絵がオークションで最高の落札された話をしました。全校児童が、評価額を聞いてびっくりしていました。聞いてみて下さい。

さて、今月からどの学年も写生に取り組めます。

「子供は誰でも芸術家」でもあります。自分の思い思いで描いてみましょう。最後まで集中をすれば、きっとよい作品ができるはずですよ。チャレンジしましょう。

もう一つ「読書の秋」。過ごしやすい秋の季節にお勧めしたいのが読書です。本を読むことで、幅広い知識が身につくでしょう。そうすると、会話力や文章力も向上し、的確に自分の考えを相手に伝えることができたり、よりスムーズに人間関係を築けたりと、コミュニケーション力も身につきます。

